

1 推進目標

令和7年度末までに、武蔵野市の全ての公立中学校等で、地域や学校の実態に応じ、地域連携・地域移行に向けた取組が行われていることを目指すとともに、部活動指導員の拡充を進めていくことで、教員の部活動に係る負担の段階的な軽減を図る。

2 現状と課題

- ・多くの児童・生徒・保護者が、部活動は、豊かな学校生活を送るうえで教育的意義があると考えており、生徒にとって部活動は重要な居場所の1つとなっている。
- ・各中学校では、10程度の部活動を設置しており、武蔵野市立中学校生徒の部活動加入率は90%程度である。

3 取組の方向

- ・部活動は、学習指導要領で学校教育の一環として位置付けられていることから、当面は学校管理下において行う部活動として、学校を中心とした着実な地域連携を進める。
- ・S(科学) T(技術) E(工学) A(芸術) M(数学)に関連した活動に取り組み、市の事業(サイエンスフェスタ)において、1年間の取組成果の発表を行う部活動を地域移行のモデル部活動(STEAM部)として設置し、部活動の地域移行に係る検証を行う。

4 改革推進期間における武蔵野市の取組

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
武蔵野市立学校部活動在り方検討委員会の開催	・部活動の在り方に係るアンケートの実施及び分析 ・部活動指導員の拡充計画 (年3回開催)	・方針及び計画等の完成 ・拠点校方式による合同部活動計画の完成 ・生徒・児童・保護者への説明資料の検討 ・教員の兼業・兼職に係る検討 (年5回開催)	・拠点校方式による合同部活動への移行に係る運用面等の最終確認 ・地域連携等を実際に運用した際に出される課題等の整理及び解決策の検討 (年5回開催)
武蔵野文化生涯学習事業団(部活動コーディネーター)	—	・部活地域連携支援事業の業務を受託 ・部活動コーディネーターの配置 ・地域のスポーツ団体及び文化芸術団体との連携 ・人材リストの作成	・人材リストの充実 ・部活動指導員配置の拡充に向けた、地域のスポーツ団体及び文化芸術団体との一層の連携
地域連携・地域移行	・武蔵野市における地域連携・地域移行の方針を決定	・児童・生徒・保護者への地域連携・地域移行に係る説明の実施 ・部活動指導員の拡充	・拠点校方式による合同部活動への移行 ・地域移行のモデル部活動の設置 ・教員の兼業・兼職の開始

5 成果指標

- ・生徒の部活動についての満足度の上昇
- ・教員が指導に携わらない部活動の増加
- ・教員の部活動への従事時間の縮減